

UNIT 7 「Dr. Jack Kevorkian」 について日本語で要約した上で、あなたの考えを述べなさい。

~~本設題では、まず教科書のUNIT 7を要約する。次に1990年にキボキアンが行ったジャネット・アドキンズの自殺幫助について文献調査を行い、疑問点を抽出する。そして、医師・安楽死を希望する患者・その家族、の関係を通して、医の倫理とは何かを考察し、自らの考えを述べる。~~

よみ置きは不要です

1. UNIT 7 の要約

オランダではかなり以前から、安楽死または自らの意思による尊厳死は、合法であるとされてきている。死期の迫った患者は、主治医と患者自身の家族とともに相談し、医療行為を止める選択権を持っている。

これに関して、アメリカで最もよく知られている人物として「死ぬ権利」の運動を主張

「字をいじりまわす」

しているミシガン州のジャック・キボキアン
医師がいる。彼は、末期患者が自分でボタン
を押すと、致死量の一酸化炭素または他の劇
薬が患者自身に与えられるという自殺装置を
作っている。彼は、1990年から100人を超え
る人々の命を終わらせる手助けをしており、
この行為は「自殺幫助」と呼ばれ、アメリカ
で大きな論議を^{まき}起こしている。キボキアン医
師自身は、重篤な病人の尊厳死の手助けをし
ており、彼らを耐え難い痛みから解放してい
ると主張している。しかし、この彼の意見に
は、多くの人々が反論している。ミシガン州の
関係者達は彼を「連続殺人者」と呼んでいる。

深刻な問題の答えが必要とされている。耐
え難い痛み^{生命いくほくもない}に~~命を縮めたい~~人々は、自ら死ぬ
権利を持っているのか。例え何があろうと医
師は、人の命を支えることを~~神に~~誓っている。

患者の命を終わらせる手助けをすることは倫
理的に正しいことなのか。誰が最期の決断を
下せるのか、それは、医師か、患者自身か、

5

10

15

20

神にはありませぬ
有難なエホヴァス9
誓いますよ

それとも患者の家族なのか。

辛辣な批評家は、キボキアン医師を「ドクター・デス（死の医師）」と呼び、苦しむ人々を助けることよりも自分の名をあげることに関心を持っているとも言っている。彼はミシガン州で4回、殺人罪で裁判にかけられているが、常に無罪と判定されている。1998年9月、彼は、致死量の塩化カリウムを患者に投与し、その様子を録画した。そして、そのビデオは全米向けのニュース番組で放映された。

ミシガン州の検察は、キボキアン医師を殺人罪で起訴し、1999年3月26日、10～25年の有罪判決を下した。

降ける必要ありません。

2. ジャネット・アドキンズの例

ジャネット^{アドキンス}は、オレゴン州に住む54歳の女性である。音楽やスポーツ、野外活動を好む人であったが、初期のアルツハイマーを患っていた。急激に記憶力が低下したことで好きな活動ができなくなり失望感にさいなまれて

↑ 字ひっこのめ

母初はフルネームを用いて下さい

いた。これについてジャネットの夫は「精神生活がジャネットの命だった」といっている。

このような状態のジャネットはキボキアンに対して安楽死を要請し、ジャネットの家族も最終的にはその決定^意を支持し、ジャネットとその家族は安楽死に合意し、必要な書類に署名をした。こうして自殺幫助の取り決めがなされた。キボキアンは自殺幫助の場所として、診療所・教会などを探したが、どれも断られた。結果的にキボキアンの自動車の中に簡易ベットと自殺装置を積み込み、ミシガン州の公園に行き、自殺幫助が行われた。^①

空けないで下さい。

3. 疑問点

ジャネットの例をまとめた上で生じた疑問は次の通りである。

まず、初期のアルツハイマーであるジャネットの判断能力は疑わしいのに、キボキアンは自殺幫助の要請を請^{受け入れ}ていることである。以前よりキボキアンは自殺幫助と、自作の「自殺

「補助装置」の使用を広めようと熱心に取り組んでいたという⁽²⁾。そのような折り、ジャネットが現れた。ジャネットは苦しんでおり、安楽死を望んでいる。ミシガン州では自殺補助を禁止する法律がない~~()~~当時~~()~~。これらの状況からキボキアンは、ジャネットの要請を自分に都合のいいように解釈し、それを自らの利害に利用する意図があったとは考えられないだろうか。

さらに、ジャネットにとって安楽死が最良の選択だったか^{どうか}も疑問である。ジャネットにとっての耐え難い苦しみとは精神的なものであり、その苦しみはジャネットにしか分からない性質のものである。しかしジャネットは「病気が恐ろしくて、すみやかに死ぬことが一番よい」と思い込んでしまったという可能性は考えられないだろうか。

つまり、ジャネットがキボキアンに安楽死の要請をしに行った~~()~~際、少なからずキボキアンの意図が、患者の安楽死に対する決断に影響

5

10

15

20

響を及ぼしたのではないかと考えられるのである。

空け子必要ありません。

4. 安楽死の決断における第~~3~~^三者の影響

そこで一般論として、医師の意図が患者に
どのような影響を与えるかを考え~~た~~^{てみる}。~~そうし~~
~~たら~~キボキアンに限らず、医師の意図するも
のが、意識的にせよ無意識的にせよ、患者の
判断力に影響を及ぼすことはあるという考え
に至~~った~~^{るであろ}う。次にその例を挙げてみる。想定と
して、安楽死を考えている末期患者に対して、
医師が病気の予後について説明する場面を
想像していただきたい。

医師 A : 「あなたの病気は今後も治る見込
みはありません。今後あなたが行くであろう
ホスピスでは身体的な痛みを軽減するために
あらゆる手段が講じられますが、副作用から
あなたはやがて自分一人では何をすることも
できなくなるかもしれません。」

この説明は、医師が事実を述べているもの

である。次は同じ事実を違った言葉で説明するところなる。

医師 B : 「残念ながらあなたの病気は現代医学では治る見込みはありません。しかし医学は日進月歩です。明日にはあなたの苦痛を取り除く医療技術が発見されるかもしれません。現に、今後あなたが行くであろうホスピスではさまざまな取り組みがなされています。簡単に死を決断する前に、まずホスピスではどのようなプログラムが実行されているのか見てはいかがですか。それから安楽死を考えたもよいのではないですか。」

医師 A に面接を受けた患者は安楽死を望む可能性がある。医師 B に面接を受けた患者は、安楽死を延期、もしくは中止する可能性がある。この2つの事例はあえて分かりやすく示したが、実際には逆の場合も考えられる。例えば、うつ病の患者に励ましの言葉をかけてはいけないように、安楽死を考えている患者に対して医師 B のような、患者を励ます言動

はかえって患者に安楽死を決断させてしまう
かもしれない。また、もし医師に悪意があっ
た場合、患者の心裡を逆に利用し、言葉巧み
に患者の心裡を操作することも考えられる。

また、安楽死の決断に第三者が影響を及ぼ
す存在として、患者の家族も考えられる。家
族の意図が直接・間接の形をとり、患者の死
に対して影響を及ぼす。例えば患者が安楽死
を医師に要請する際に、家族が積極的な役割
を果たすことがあるとする。その際、家族の
意図には、患者の死後に入る遺産が関係して
いるのかもしれない、といった具合である。

空けないで

結 論

キボキアンとジャネットの例と、安楽死の
決断に関する第~~3~~^三者の影響について考察して
きたが、ここで結論として自分の考えを述べ
る。それは人間の命に対して最期の決定をく
だせるのは、医師でも、患者でも、家族でも
ないということである。つまり、人間が人間

の命をコントロールするのはよくないということ
 ことである。ただし、身体的な苦痛を和らげ
 るための対処において、結果的に患者の寿命
 を縮めてしまうような副作用を持つ麻薬など
 の使用は、患者にインフォームドコンセント
 の理念に基づいて行われる限りは、倫理的に
 許されると考える。したがって今後の課題は、
 身体的な痛みが緩和できない場合の対処をど
 うするかということになるが、その答えはま
 だ見つかっていない。

以上、ここまで述べてきた意見は、いささ
 か性悪説に過ぎるといふ反論があるかもしれ
 ない。立場が違えば価値観も異なる。今後、
 社会の価値観がさらに多様化してくれば、医
 師による安楽死幫助は倫理的に正しいことに
 なるかもしれない。しかし、少なくとも現状
 においては、安楽死を諸手を挙げて賛成とは
 いえないだろう。何故ならば、末期患者に対
 して病名の告知を行うことが少ない日本では、
 まだ安楽死を合法化することには馴染まない

救教と弁ることは鉄則です。救教内におよぶ技術、工夫も大事な勉強です。参考文献を用いたものはいいですが、もう少し自分のことはまとめておきましょう。

5

10

15

20

といえるし、個人主義の強いアメリカでさえ、オレゴン州を除く、多くの州で安楽死は非合法である。唯一オランダで事実上の安楽死が認められている訳だが、今後はオランダの医療倫理にどのような問題が起き、それがどう解決されていくのか、という動向を常に検証していくことが必要であろう。

レポートが十枚というは問題です。八枚に書くことになっています。一枚超えというは、いかなる分野においても、たとえ内容がいかによきても、不合格とされるのが常識です。甘い合格にしておきますか。今後手をつけたい。

空けないで

【 後 注 】

8枚くらいのレポートに注は要りません。

- ① グリゴリー・E・ペンス、133~135頁参考
- ② デレック・ハンフリー、187~193頁参考

空けないで

【 参 考 文 献 】

- ・ N H K 人 体 プ ロ ジ ェ ク ト 『 安 楽 死 生 と 死 を み つ め る 』 日 本 放 送 出 版 協 会 1 9 9 6
- ・ グリゴリー・E・ペンス『医療倫理 1 よ り よ い 決 定 の た め の 事 例 分 析 』 み す ず 書 房 2 0 0 0
- ・ デレック・ハンフリー『ファイナル・エグジット 安楽死の方法』徳間書店 1992

この二冊には記者名がありませんか？

記者名

記者名

甘い合格にしておきますか。今後手をつけたい。

